



図 5-1 自己，仕事，家庭への掛かり合いを分析するためのモデル  
 (A＝自己成長への掛かり合い；B＝仕事への掛かり合い；C＝家庭への掛かり合い)

(E.H.シャイン著「キャリア・ダイナミクス」より)